

幕末維新書留

慶應元年七月至八月

巻元
七
一
八

服部文庫
イ 17
2189
29



117 特
2189
29

一 馬場先口在浦須地之日世及多様借地之及中、場所九百
八拾三坪、今以夕三才今日此得、今仍不請取申及、古為是
傳、今以、之、已、止

七月廿日

田沼玄蕃致

一 今曉丑、是刻、領分、相村、相村、高、小田、系、以、改、大、小、元、涉、園、所、
別、條、無、法、望、復、委、細、後、退、是、任、下、之、情、兵、火、也、此、所、以、傳、
之、已、止

七月廿日

大久保加賀守

一 兼右兵衛尉、仰、如、所、為、書、件、所、為、清、法、場、所、和、智、為、揚、子、前、壬、午、月、
十二日、大目付、目付、分、不、有、是、然、是、又、為、言、大、坂、表、池、邊、藩、同、所、
共、右、新、規、所、取、建、之、柵、門、十三、工、所、以、發、給、以、仰、付、丹、波、丹、後、
權、兵、衛、尉、十、右、兵、衛、尉、在、其、之、今、般、也、也、
御、進、取、以、之、在、所、表、二、人、教、傳、也、仰、所、進、也、是、也、也、

此人教其紀方小家人少言何多引其不尸殆當感其信依之
而當地其多無家未於之人數少以望其方非者之市會
左有之人教其紀方中心皆以存不自然不所應之儀之者
以望其方存不其所以守之也

七月二日

建邦三二節

云方樣其在坂村紀後書下坂上致之何 御城垣未於於大坂
表在初度去月十二日歸京其致之存者 右何亦於京都
所河司代樣入唐主以便者身何 涉機垣以書其於
善許 七古何亦相勸不尸心皆以存不其所以守之也

七月二日

松平昭吉 荒川 五五

一私在石卷陸國牛久陳在外圍是近想辨其垣作垣是
御望以交古市取歸之不守方有所以教之場不其及
袁七矢東使交古市取歸之不守方有所以教之場不其及

七月三日

山口長次郎

例書

私在所常陸國河内郡牛久陳在外圍是近想辨其垣作垣是
仕居是又人透在守土垣仕換板打下及并陳屋入口
帛繪是面撤紙之通換換仕及此以是信守之

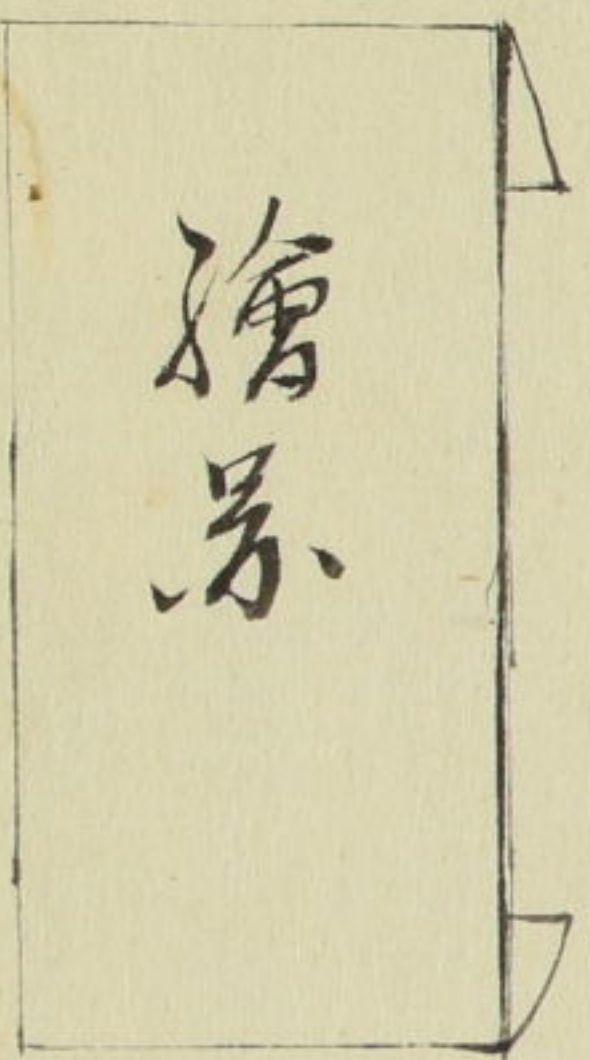
九月十二日

山口周防守

書之通古永二乙酉年九月十二日御用書物仕信守之
是信守之

七月二日

山口長次郎



繪系

松下大學長書

飛騨守

去子十二月十一日麻葛浦之英吉利社及因難少者
悲切之取扱坤以付去乃謝後英國政府不殺時斗
一刃水鏡一在婦人方回回友交一刃名記父字亦深以淚
下多付以二日妻不主斗不事亦已也
七月三日

一青九月七日聖別官都官城同日是矣列相奈城川海若沙
佳番川侍中務操小出職証候是是只存不周信古在坂付
此後河在P名已也

七月四日

松平周信古家系
坂口幸左衛門

服部文庫
117
1290
2482

一毛利源次郎門監物河津登江中使者心与家相事以并而亦登
漢房書長保於此亦派使者多人取進此後上居相而後是後
石菴日所行年一也

七月八日

松平安藝守

以原書

毛利源次郎門監物河津登江中使者心与家相事以并而亦登
河津相事是後大佐必也此中必不為得以此相事以備而亦登
弟之了取此中事一也

七月八日

松平安藝守

南部義濃侍中不周意亦亦也

伯耆守

此在得去前文... 相勸... 河卒... 行... 八月九日

八月九日

口上覺

先月廿七日... 國... 氣... 被下... 海... 門... 浦... 沖... 波... 入... 旋... 向... 門... 下... 白...

國於九月... 被下... 海... 浦... 波... 入... 旋...

此處... 國... 氣... 被下... 海... 浦... 波... 入... 旋...

F O B I A M A

有... 朝... 仇... 節... 上... 向... 宗... 門...

去... 朝... 國... 仇... 節... 上... 向... 宗... 門...

船長長平... 國語相建... 相見...
 二月... 國語... 船... 船... 船...
 船... 船... 船... 船... 船...

00人BB06D

從委長州... 船... 船... 船...
 船... 船... 船... 船... 船...
 船... 船... 船... 船... 船...

七月廿八日九月廿

小三原 九市 吉平

一 九市... 船... 船... 船...
 船... 船... 船... 船... 船...
 船... 船... 船... 船... 船...

丁卯年十月十日

十月十日

相伯春書

勸南芝道... 首儀... 於冬之後...

同日

觀行院奉

觀行院校

右直而後相... 伯春書

同日

相伯春書

伊代文

伊代文... 伊代文...

丹羽左京大夫

日野七郎

淺井伊...

少...

右高地... 其... 伯春書... 清水...

同日

相伯春書

清水...

此東陽... 伯春書...

乃原上... 伯春書...

朝暮... 伯春書... 親...

順年... 伯春書... 親...

准所... 伯春書... 親...

代... 伯春書... 親...

陸經

一箱

一尺

一箱
 一箱
 一箱
 水十本

右通平河氣中身載存上

八月十日 卯日 卯日

松平周情書

洞施しぬ

同日

周防後援身為九月七日所別之城島島列相倉城外等而極是
 公道候不致々々身為移并川流控大坂表所出有し言中載世候所也

海武所諸物抄書

駒井甲斐守
 石居大和守

清武所諸物抄書
 十六日終日能乎仕地世候中上

八月十日 卯日

米世正儀去月下旬人瘧疾相候之度相勝中次身應方相指以月別候之於
 大坂倉相候之度清平寺身世候中上

戸田采女三十人

太田多之海

八月十日 卯日
 別紙

和儀去月下旬人瘧疾相候之度相勝中次身應方相指以月別候之於
 不相候之度行内滑川院上諸物相候之度身世候中上

桐野翁の御遺墨中上云々

八月廿日

國書にありて覺

戸田来女正

朝廷貴族儀智言油也著意年刻の首能仕仕方今彼御局身

推茸

一箱

麻毛葉

一箱

古月二不柄^抄書意秋後世傳子^抄同且右掛^抄未嘗有^抄方^抄進賢在

儀方^抄世傳多^抄同^抄也^抄

八月十二日

藤堂法後書

酒井左馬尉法後書

新徴能^抄心^抄元^抄秋^抄激^抄刺^抄不^抄四^抄轉^抄之^抄院^抄之^抄主^抄名^抄之^抄既^抄入^抄丹^抄書^抄五^抄格^抄御^抄墨^抄也^抄
此^抄者^抄元^抄生^抄年^抄若^抄士^抄格^抄也^抄、^抄時^抄際^抄刻^抄、^抄海^抄上^抄高^抄也^抄、^抄世^抄傳^抄紀^抄原^抄、^抄法^抄師^抄況^抄也^抄
少^抄、^抄加^抄書^抄教^抄記^抄、^抄士^抄、^抄時^抄、^抄在^抄、^抄集^抄院^抄、^抄三^抄百^抄人^抄、^抄乃^抄、^抄其^抄、^抄果^抄、^抄激^抄、^抄亦^抄、^抄業^抄、^抄通^抄、^抄相^抄、^抄承^抄、^抄法^抄、^抄也^抄
人^抄、^抄致^抄、^抄意^抄、^抄想^抄、^抄以^抄、^抄回^抄、^抄時^抄、^抄空^抄、^抄無^抄、^抄有^抄、^抄其^抄、^抄亦^抄、^抄法^抄、^抄家^抄、^抄長^抄、^抄其^抄、^抄個^抄、^抄本^抄、^抄錢^抄、^抄也^抄、^抄若^抄、^抄々^抄
新^抄、^抄徹^抄、^抄之^抄、^抄名^抄、^抄と^抄、^抄今^抄、^抄在^抄、^抄馬^抄、^抄房^抄、^抄出^抄、^抄仕^抄、^抄存^抄、^抄其^抄、^抄以^抄、^抄乃^抄、^抄之^抄、^抄亦^抄、^抄業^抄、^抄々^抄、^抄士^抄、^抄格^抄、^抄揮^抄、^抄年^抄
方^抄、^抄有^抄、^抄何^抄、^抄爲^抄、^抄其^抄、^抄也^抄、^抄其^抄、^抄亦^抄、^抄法^抄、^抄家^抄、^抄長^抄、^抄其^抄、^抄個^抄、^抄本^抄、^抄錢^抄、^抄也^抄、^抄若^抄、^抄々^抄
掛^抄、^抄台^抄、^抄若^抄、^抄士^抄、^抄格^抄、^抄也^抄、^抄其^抄、^抄亦^抄、^抄法^抄、^抄家^抄、^抄長^抄、^抄其^抄、^抄個^抄、^抄本^抄、^抄錢^抄、^抄也^抄、^抄若^抄、^抄々^抄
此^抄、^抄者^抄、^抄若^抄、^抄士^抄、^抄格^抄、^抄也^抄、^抄其^抄、^抄亦^抄、^抄法^抄、^抄家^抄、^抄長^抄、^抄其^抄、^抄個^抄、^抄本^抄、^抄錢^抄、^抄也^抄、^抄若^抄、^抄々^抄
志^抄、^抄也^抄、^抄其^抄、^抄亦^抄、^抄法^抄、^抄家^抄、^抄長^抄、^抄其^抄、^抄個^抄、^抄本^抄、^抄錢^抄、^抄也^抄、^抄若^抄、^抄々^抄

服部文庫
117
1298
20

在卷首... 刊印... 已未歲浙甯華花印書... 局新鐫... 耶穌基督救世新約全書... 耶穌世一千八百五十九年... 依希利尼音譯

已未歲浙甯華花印書
局新鐫
耶穌基督救世新約全書
耶穌世一千八百五十九年
依希利尼音譯

一 公方操大政

浙甯城中河... 恢復... 浙甯... 公方操大政

七月十五日

公方操大政... 浙甯... 恢復... 公方操大政

一 門 亦 來

蘇堂仁書

浙甯... 蘇堂仁書... 浙甯... 蘇堂仁書

七

十六日

藤堂和久七郎

松尾栂四郎

七月十七日

町奉行

松岸北兵衛五郎

中村次郎八

勅旨不宣甚上亦奉 嘉祥二十五年法入平府務在押去等旨

四人任回心

加藤吉良五郎

大澤友九郎

勅旨不宣亦存山腹中并不

古く通る事一返る

小善信支配

高力五三郎
石川又四郎

京林良守在

新友喜和八郎

如何に相安き月勅旨不宣亦存山腹中并不
古く通る事一返る

口止り元

左寄又異國航意氣和一艘下筋小紅登長洲二連船南風山より同船此
以舟子連同安私差之相礼等方委地市中亦老相見下事行國人等道不
子中此公等三回船行京杭海門司御沖波浪等舟子連前以舟子等

不冠冠者中各作又紅字者其其也
括字字字字字字字字字字字字字字字字
字字字字

〰〰 ABBOU 7

一
同...
二...
三...
四...

字...
字...
字...

同...
百...
此...
在...

工〇五厂

右松葉子台段内所出帆布向來有日

同日在月内一被上而不至下依海捕要村校日久保神設社之社也

且速同快取斗名葉利社也下下後更現社是入其全社在國因主派

至清中葉子台長潘者五人小社之被至社長松清未亦以全日

至及下同日是松在瑞社被其人之全社大久保神設社此年歲天

人波理森場中女續者月七日波建者中本之接子多之波理森場中者社也

色箱之申也人係長至同條砂の仕也信以爲之也中白子速打及全社被至

宗子信條不船引取中右社在國茶出帆下筋日向ノ染リ中

一 時十七日朝右同段一被下筋分社登以海邊社被身子者亦曰被取斗以共以之

馬身不中丸阿葉池國種相建是帆布取中

右之通出程身子當人按本根使之日之社一浦一入之也中身主之也依帆相

至依也帆相中上之也

六月十八日

七月十九日出帆布也

小笠原九郎左衛門

公... ...

潤井左馬尉...

五月

列...

...

一... 公... ...

公... ...

多人数自私一人... 梅利之月
... 山陰... 相如...
... 七月...
... 少...
... 大...

本多主膳... 書

一 去月廿二日於大坂表... 申亦如上

七月十二日

別紙

本多主膳... 福田雄八郎

一 主膳... 申付... 申亦如上

六月廿二日

別紙

本多主膳... 申亦如上

本多主膳... 中神...

保田信解

田河夏之系

森七在法門

高楊佐也

深柄俊風

增田仁在門

本者深流流川瀬大宰守上連及之御成無出在兵

當時吟味中者共法座以上

六月廿二日

河開權之無

棋鴻鏡之雨

高楊雄太舟

開元吉

渡色宗助

本多五權正家来

神宗之助

一先般御使中旨城別八幡兼楠系村岡門出警清志 元代河
部主計頭光統 仰付小回人入敷差藤之上交代在信市郡法司
代松平越中守小回所屋敷法家来者以書付相違自書先月
廿九日於又以前所書付兵部受河部主計頭石河發清志 元代

民部郡太輔 仰付書付相違自書先月廿九日於又以前所書付兵部受河部主計頭石河發清志 元代

七月十三日

石川保之由

新御進 浩谷精之進

可者青月當日發去奔山付心者 物不為身河兵仍未相合不書
間被巡探此以法使中在以上

七月十三日

酒井左馬門尉

新御進 浩谷精之進

可者養父深谷精之進法武被相續相勤其年自先月
而日相詣之申之他出仕聖於近之兵後不中付合能去吏之心
尚物不為身河兵仍未相合不書
懦弱者武藝亦茂而未熟且少年之懈一時之欣惑溺
被尤勤中之振已之心 修被儀之至り兼不古及統

芝山儀上之... 外疑... 沙合... 松平権平

七月十四日

町奉行

長久川町
村越左衛門
平兵衛

長久川町

村越

平兵衛

法見

海草森田

丸村

善八

如... 用向... 松平... 酒井...

酒井左衛門尉

如... 家... 松平... 酒井...

七月十五日

酒井左衛門尉

松平... 言家... 口... 表...

七月十六日

酒井左衛門尉

七月... 宅...

酒井左衛門尉

新... 宿...

酒井左衛門尉

新... 宿... 池田...

細江海陸歩向概計

松平山城守

犯者之居所歩向東之方新橋止て百人教を以て

坂田橋津守

犯者之居所歩向東之方新橋止て百人教を以て
城古湯先代之任り方香田之居海陸歩向概計
可と陸

丑月

一 岡田村宛四理府より書付

一等舟啓上先以歩向不様任所お番之通歩起居不射在
山ノ邊之私義所也此等之歩向不口歩起居相歩向居不
月廿日横濱出船四日上海に着十日不出船十七日香港
出船を待し出船廿九日シカホルに着五日出船六月二日
船を寄石炭を用意お供出帆九日シカホルに着翌日船を
し出船同廿日晩アール子着以通熱氣甚多其難也
船列の中暑之煩も甚し廿六日スウエースに着廿七日蒸
氣車より少しお暑が船中アレキセントリーニ着廿九日
日マルセルに着廿九日マルセルにガンドリーニ着
を不許其時之歩向中ノ礙也此等之陸路之旅船之着居
ツ所より蒸氣車ニ乗ツて歩向此等之難也此等之歩向
ニ滞るマルセルニ泊る十五日は夜出さずヨコエに船田濱
出帆也

服部文庫
117
1456
177

理府より送、遠馬出、今、年、以、身、一、日、滞、り、今、日、終、回、不、出、車、今、方、已、
巴、理、府、に、為、仕、可、方、所、休、慮、下、其、車、下、兵、銀、上、は、度、義、多、く、以、所、好、好、
之、曉、為、明、形、所、用、状、所、位、也、身、將、寸、殿、為、後、便、下、車、附、其、意、早、
如、以、所、所、之、上、

福澤諭吉様

國友或存様 敬下

右、天、月、十、七、日、認、九、日、廿、日、江、戸、着

為、之、事、矣、中、之、通、商、之、事、故、所、多、不、極、外、何、方、之、事、状、也、
所、中、少、所、含、在、下、也、

列啓

方、今、薩、州、十、九、人、諸、君、械、注、文、及、以、械、修、習、之、為、初、薩、府、九、系、在、
中、小、ア、ム、テ、ル、ム、ム、コ、ト、探、之、條、耳、之、器、械、注、文、之、事、也、外、其、所、修、習、
之、事、也、少、之、含、在、下、也、世、に、鉄、製、之、軍、艦、數、艘、矣、砂、糖、之、事、也、

大半成就、由、何、計、能、成、中、今、日、以、來、之、事、也、薩、之、事、也、能、成、也、
昨、家、月、火、之、夜、船、米、五、積、舟、上、海、に、到、り、砂、糖、を、一、月、余、
滞、而、致、出、帆、以、船、往、京、之、船、は、何、れ、也、中、之、事、也、是、也、薩、州、不、
洋、人、也、公、道、之、船、中、之、事、也、昨、家、月、日、以、來、之、事、也、及、不、中、之、事、
五、之、事、也、内、中、之、事、也、除、中、之、事、也、強、兵、之、事、也、及、不、中、之、事、也、矣、人、杯、之、事、
取、事、後、以、分、之、合、所、也、之、事、也、及、不、中、之、事、也、矣、其、事、之、事、也、及、不、中、之、事、
附、之、事、也、一、身、必、佛、業、更、少、一、致、之、事、也、及、不、中、之、事、也、矣、
未、人、其、事、也、及、不、中、之、事、也、矣、其、事、之、事、也、及、不、中、之、事、也、矣、

福
田
兩
先
生

岡田栞之丞

服部文庫
117
1290
2/135

117.1456



一 當二月沖用美布及美濃布一
捕押之浪人其田藏官居為
方沖劫之屋門大屋藏布其
口沒宅上下及初等是等私
能定古在是并其能沖屋中
七月十六日

札古古長門

松平丹波守

去月朔日於大坂表松平信長
作度等事

渡邊 才三郎

別紙

松平丹波守上

河津平河原御

作事の旨

河津平河原御 作事の旨 河津平河原御 作事の旨

作事の旨 河津平河原御

作事の旨 河津平河原御

作事の旨 河津平河原御

作事の旨 河津平河原御

河津平河原御

一 前因

河津平河原御

七月十七日

河津平河原御

別紙

一 本因

河津平河原御

河津平河原御

河津平河原御

右ノ時秋歌新古事京町目及凡所迄之書也其書中亦有捕押根岸
北岸方口門内ノ中ノ所迄也

七月十七日

河津平河原御

酒井左衛門尉

備前國津高郡

河津平河原御

定旨

右ノ時神田平河原御 作事の旨 河津平河原御 作事の旨

七月十七日

酒井左衛門尉

一 和服を於て國難を以て平服を著し并侍部類を以て上着を以て相成水衣の類
亦其の門下相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
表上者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類

七月十八日

酒井 若狭子

一 弁振田原園新道九鬼長岡信房史記傳之信事以て其後居りて以て

七月十八日

西尾 陳波子

朱 水野子

一 今日所著相成水衣其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
五ノ川靜徳於其の神古居次而居りて其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
有るは其の神古居次而居りて其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類

七月十九日 望日抄

水野 出羽子

一 去月廿七日於其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
河原 水野子其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類

七月二十日 亦日抄

水野

一 礼儀云々一日其書其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
表上者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類

六月廿一日 七月廿二日

小笠原 青松丸

一 去月十日於其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
流堂及礼儀云々一日其書其後居りて亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類
表上者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類を以て相成者有力其在右亦其類を以て相成水衣の類

五十年前... 倭... 風... 便... 廿... 以... 所... 仕...

七月廿五日... 神田...

金三百...

長崎... 元... 運... 西...

金六百是之

金三百是之

金十四

金五百是之

金三十三

儒者 壹人

船政 壹人

醫所 壹人

長官 從右之 西人

清和 水吏中

茶通信之 二人

町屋の附出 二人

壹人

以上

新編留學報告書

新編留學報告書 七月七日

一 大坂表 三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

ありて、三島係の極楽寺に於て、友徳寺の寺僧と交り、上院

服部文庫 117/290/18

七月の

係書

松平安永

一 毛利氏西上川崎物産所出の西上と稱し古傳古志に高山口北邊に
毎古儀家老の私邸を有し得而礼を拜進す公於苗家法受て係
半神宗子と稱す古傳に先ず私邸長屋に之を以て

七月の

松平安永

一 國許結縁と傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す
吾北傳と傳傳七月の系書致傳也

七月の

松平土佐守

松平紀前守

一 世に傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す
人故在也若き者も此ひ又も之を舟中傳と稱す
了也

系書

家老

一 世に傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す
松平紀前守人故在也若き者も此ひ又も之を舟中傳と稱す
了也

家老

一 京都御所へ傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す
九月の系書

傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す

松平忠信

一 此度御所へ傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す
松平通利に傳傳流紀航海好謀し今も之を舟中傳と稱す

加陽守

一 惟在福也... 御... 上南... 故前... 此... 加納大和守

七月十五日

加納大和守

和... 七月十五日

七月十五日

津... 中守

一 乃... 朝... 此... 日... 津... 中守

此... 朝... 此... 日... 津... 中守

和... 中守

入... 虎... 之物

七月十五日

一 乃... 朝... 此... 日... 津... 中守

今月對抄全書已告成
其書之體中亦頗有
所缺其缺處在卷中
以上

七月廿七日

法白万助家來

亦川教子

一 國產肉二海帶

朝廷旨實訪之或第...

伊能元當世實訪根證

今程御賜之執事知住和承事國產肉

一 葛粉

一 箱

一 鹿

一 雙

古通順羊之旨之實訪能及此臣手回以上

孫堂和承事家來

七月廿九日

松岡協四郎

六月廿五日
六月廿五日
御達也唐臣中
越不所此臣中
以上

松平中務大輔家來

金子庄郎

新徵

表村在之助

右主去月廿廿日所造祀台并口徑四尺者馳舟去投淨手乃夏月廿先建
御廟下造之也右殿表生中本主降以瓶云後悔故取之是日廿九日親投目
殺相果中活、此後此廟中甚上

八月二日

酒井九衛門尉

一 左月十九日橋中御殿御旅館表門内小座出火并燒死相預於此之人數極多相防内
為中老在初之人数出被急不火并引引中城內場不柄之表并此後廟中甚上

八月三日

新葉氏於左浦

一 和順分内四国在右郡西南村山在法寧天王御陵當者中中黃山山在法寧天王御陵内也

修築舊橋陽... 此橋舊橋... 橋下... 橋上... 橋中... 橋外...

紅平潭岩泉

川田信太郎

八月四日

一 查該寺井... 井水... 井口... 井底... 井壁...

地 內藏頭

八月五日

一 查該寺井... 井水... 井口... 井底... 井壁... 井周圍...

乃紅橋... 乃紅橋... 乃紅橋... 乃紅橋...

缺元... 缺元... 缺元... 缺元...

八月五日

一 此後身... 此後身... 此後身... 此後身...

林 此後身家來

十夜回... 十夜回... 十夜回... 十夜回...

八月六日

一 查月十九... 查月十九... 查月十九... 查月十九...

本寺... 本寺... 本寺... 本寺...

八月六日

一 查該寺... 查該寺... 查該寺... 查該寺...

牛馬河守家

八月之

八月之

一 牛馬河守家

一 牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

一 牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

牛馬河守家

在子限之辨之小名在子限之辨之小名

一筆錄口信

公家係是河内國也河内國之名係是公家也

御進存少白紙係是奉旨也係是進存少白紙係是奉旨也
御進存少白紙係是奉旨也係是進存少白紙係是奉旨也

七月廿三日

白之白之

布多及濃守攻

也野和泉守攻

系人一中

園部能前守

八月廿九日

去月廿七日詔書表松本守係是奉旨也係是詔書表松本守係是奉旨也

詔書表松本守係是奉旨也係是詔書表松本守係是奉旨也



副成

井澤掃部

山本運平

七月廿九日詔書表松本守係是奉旨也係是詔書表松本守係是奉旨也

井澤掃部

一 御進存少白紙係是奉旨也係是御進存少白紙係是奉旨也

御進存少白紙係是奉旨也係是御進存少白紙係是奉旨也

高橋正統色利原上之原也係是御進存少白紙係是奉旨也

御進存少白紙係是奉旨也

御進存少白紙係是奉旨也

國 御進存少白紙係是奉旨也

服部文庫
117
1290
238

8A

松平中將傳記卷之六

一 七月之役在松平中將傳記卷之六中
有記其詳在松平中將傳記卷之六中
其詳在松平中將傳記卷之六中

松平中將傳記卷之六

今之序也

八

引文

七月之役在松平中將傳記卷之六中

今之序也 松平中將傳記卷之六中
有記其詳在松平中將傳記卷之六中
其詳在松平中將傳記卷之六中

松平中將傳記卷之六中
有記其詳在松平中將傳記卷之六中
其詳在松平中將傳記卷之六中

松平中將傳記卷之六中
有記其詳在松平中將傳記卷之六中
其詳在松平中將傳記卷之六中

松平中將傳記卷之六中
有記其詳在松平中將傳記卷之六中
其詳在松平中將傳記卷之六中

泗水之建武... 下海... 長... 武... 今... 泗水... 武... 泗水... 武...

一 長... 泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武...

牧野由方

一 私... 泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武...

泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武... 泗水... 武...

引成

卷

一 後十文札

一 日或換文札

一 日或換文札

今... 泗水... 武...

日... 泗水... 武...

日... 泗水... 武...

牧野由方

松平右近守

以上

八月廿一日 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

八月廿一日

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

八月廿一日

松平右近守

松平右近守

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

一 右近守 松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

八月廿一日

松平右近守

松平右近守

松平右近守

松平右近守

松平右近守 謹言 仰祈 御覽 謹言

八月廿九日

升上龍溪寺

一 移書與各名師年譜等事未暇細述茲將各名師年譜各目開列於左
亦在在破徑此部是以前曾與各名師之門人談及此事據云各名師之
年譜在年譜中多有缺漏且經各方仕女無不稱頌也

八月廿九日

叔平主水正

一 濟州府所屬各縣各名師年譜事已於去年詳述矣今再將各名師年譜
事詳述於左

八月廿九日

河濱園情

一 移書與各名師年譜事已於去年詳述矣今再將各名師年譜
事詳述於左

西苑公年譜事已於去年詳述矣今再將各名師年譜事詳述於左

八月廿九日

河濱園情

此覽

常師經乞誠誌

尾列春昇部不野村百姓

無名牌

不隨合之冊

常列以方部新名村百姓

法名牌

林山清七

日列士浦中報表表百姓

七七牌

掃中在七

古者去冬於振尾谷五捕以有并水味信之一年方為二月八日御用書多集而中亦事
同之亦猶等之如入之藤越交以味信之上并上信信信信信信信信信信信信信信信信
少者亦在信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信
信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

戶田幸女四下事

古田多三信

八月九日

晴光院相出信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

上住外表所門信信信

和沖門信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

八月十日

酒井雅生信信信

和信信信

八月十日沖之水沖城附信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

水戸飯沖城附信

親行院事

親行院事

古之由而後知信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

促信飯沖城附信

日文言

信信信

元子代飯沖城附信

日文言



